

聞き取り入門講座

聞き取りに初めて取り組むための具体的な方法を学べる入門講座を2回（講座編・実践編）に分けて開催します。講座編のみのご参加も可能です。ご興味のある方はぜひご参加ください。

講座編

質問項目の整理のしかたやお話を聞かるときに気を付けることを学びます。また、機材の使い方なども練習します。

○日時 2月21日（土） 13:30～15:30

○会場 飯田市美術博物館 講堂

（△会場を市役所から変更しましたのでご注意ください△）

○講師 安岡 健一さん（大阪大学／歴史研究所顧問研究員）

○受講無料

※オンライン受講はありません。

実践編

聞き取り入門講座で学んだ方は、以下の「戦後の飯田写真展」で、農村写真をご覧になった来場者から聞き取りをおこないます。来場者の方の語りに耳を傾けて、一緒に記録に残してみませんか。

○講師 安岡 健一さん（大阪大学／歴史研究所顧問研究員）

お申し込み

- Web フォーム・電話・FAX・メールでお申込みください。
- 講座編のみのご参加も可能です。
- 電話・FAX・メールでお申し込みの際は、氏名、電話番号をお知らせください。
- 申込締切：2月18日（水）



■ Web フォーム

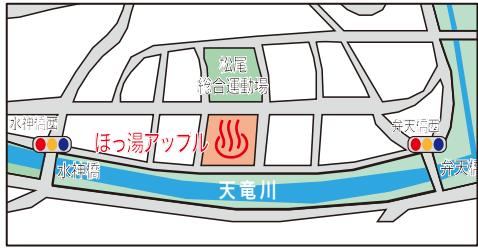
戦後の飯田写真展

飯田市歴史研究所の所蔵写真や雑誌『家の光』の写真から、戦後の飯田の農村風景を集めて展示します。展示会場の一角には、当時の思い出を語っていただけるブースも設けます。お時間がございましたら、こちらまでぜひお立ち寄りください。

○日時 3月6日（金）～8日（日） 11:00～16:30

○会場 ほっ湯アップル 会議室（松尾明 7513-3）

※写真展は入浴なしでもご覧になれます。



国道153号線の風景（昭和31年頃、上郷飯沼）



水引作りの様子（昭和52年、箕瀬町）



松尾小学校全景（昭和30年頃）

研究紹介 建築家・久保田正吉に関する調査研究

岩田 会津（歴史研究所研究員）

飯田市歴史研究所では、建築史にかかわる調査研究を継続的に実施している。ここでは、私がいま関心を寄せて調べている、建築家・久保田正吉（1902年生）を題材としながら、建築史の研究がどのように進められているのか、その一端を紹介したい。久保田正吉は、昭和0~20年代に下伊那で活躍した建築家で、代表作に下伊那教育会館（1938年、国登録有形文化財、図1）がある。恐らく下伊那で最初に建築設計業を手掛けた人物であるが、その業績は、これまでほとんど知られていない。



図1 下伊那教育会館

(1) 史料調査

建築史研究のうえでも、史料調査は欠かせない。今回の場合は、まず久保田の経歴や設計作品を明らかにすることが課題となった。先行研究がないうえ、久保田に言及した文献も限られ調査は難航したが、歴史研究所に所蔵される史料を調べているうちに、久保田の経歴書を発見することができた（「三石義雄家文書」）。本史料は記載内容から昭和30年頃の作成と考えられ、久保田の学歴、職歴、主要な設計作品（計69件）を知ることができる（表1・2、作成に当たり他にも文献・史料を参照している）。そこから、久保田が日本大学高等工学校（建築構造学者として著名な佐野利器が校長を務めていた）で建築教育を受けたこと、長野県庁や、黒田建築事務所で実務経験を積みながら鉄筋コンクリート造、鉄骨造の実作を残していること、1930（昭和5）年に開業したのち、飯田下伊那で学校・工場を中心に設計を多数手がけていたことなどが判明した。

なお、久保田が勤めた「黒田建築事務所」は、東大卒で長野市を拠点に活動した建築家・黒田好造（1892年生）が主宰する設計事務所である。主な作品に、追手町小学校（1929年）、伊那市創造館（1930年）があるが、久保田の経歴書によれば、彼は構造設計の主任として、これらの建物の設計にも携わっている。

また、久保田の設計資料として、彼の主宰する久保田土木建築事務所で作成された図面や設計仕様書、工事請負契約書なども一部確認することができた。図2に示したのは、1935（昭和10）年に作成された松尾小学校特別校舎の建築図面（矩計図、旧松尾村役場文書）である。部材の取り合いや寸法、材料が細かく描きこまれており、建物の設計が極めて緻密になされていることがわかる。設計仕様書でも、材料や施工法、メーカーが詳しく指定されている。また、施工にあたっては現場の係員の指示を受ける必要のあることが、仕様書や契約書の随所に明記されており、設計意図と外れた建築がつかられないよう、徹底した対策が打たれている。

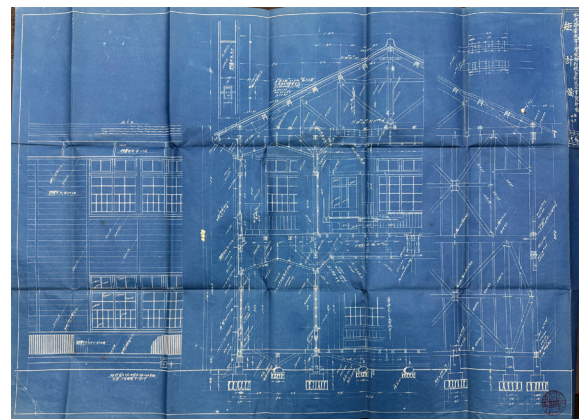


図2 松尾小学校図面（昭和10）

表1 久保田正吉の経歴

年代	できごと
1902	出生
1923	日本大学高等工学校建築科卒業
同年	長野県土木課建築係（～1925）
1925	黒田建築事務所（～1930）
1930	設計事務所開業
1944	長姫高校建築科講師（～1955）
1951	松本市に事務所を移転
1952	長野県建築監理協会初代会長
同年	長野県建築士会副会長（～1953）

表2 久保田正吉の設計作品（一部抜粋）

施工年	建物名	構造
1925	上諏訪町役場	RC
1927	旧長野農工銀行諏訪支店	RC
1927	追手町小学校（校舎）	RC
1927	伊那町図書館（現・伊那市創造館）	RC
1929	会地村阿知川発電所（駒場発電所？）	RC
1929~30	追手町小学校 講堂	鉄骨
1932~33	天龍社	木造
1935	下伊那教育会館	木造
(1936)	松尾村講堂（現・松ぼっくり講堂）*	木造
1937	飯田会館	木造
1944~46	多摩川精機 工場・宿舍ほか	木造
1950~51	高陵中学校（一部・姫宮林間学校）	木造
1953	長野県蚕業試験場飯田支場	木造
1953	喜久水醸造	木造

施工年は「経歴書」の記載による。
太字は現存（2025年現在、推定含む）
*「経歴書」には記載なし。

(2) 建築調査

以上の史料調査により、久保田による設計活動の実態が明らかとなった。一方、それと並行しておこなったのが、現存する建造物の調査である。表2でも挙げた通り、久保田の実作は、文化財に登録されているものも含め、今も多く残されている。ここでは、そのなかでも旧松尾村講堂（現・松ぼっくり講堂、図3）において、11~12月に実施した調査から、建築調査の方法を一部紹介する。同講堂は皇太子生誕を記念して、村の会合および結婚式の用途に供するため（『松尾村報』5号）1936（昭和11）年に竣工した建物である。戦後は松尾公民館の講堂とされ、現在は隣接する児童館の付帯施設として利用されている。

建築調査では、各箇所の寸法を実測し、建物の図面を作成することで、その形式や構造、デザインなどを把握する（図4）。図面は、はじめに現地で手書きの実測図（野帳と呼ばれる）を作成し、CADソフトで製図する（図5）。作図にあたっては、コンベックスやレーザー測距計ではかった寸法値を参照するほか、写真や3Dスキャンデータなども活用している。また、建物の構造を知るためには、普段天井の裏に隠されている小屋裏の調査も重要である。旧松尾村講堂でも小屋裏にのぼり、キングポストトラスで堅固に組み上げた小屋組の架構を確認した（図6）。その架構法についても実測をおこない、図面に起こしている。加えて、小屋裏では束札を発見し（図7）、同講堂の設計監督を久保田正吉が、施工を吉川三四郎（吉川工務所）が担当したことを確認している。

起こした図面を見ると、旧松尾村講堂の小屋組みは、図2で見た松尾小学校のものと同形式であることを指摘できる（図8）。また、同様の架構は下伊那教育会館でも認めることができ、さらには外壁にスレート材を用いる点も、これら3つの建築に共通する。旧松尾村講堂と下伊那教育会館は、車寄せのデザインも酷似しており（図1、3）、久保田の建築デザインには一定の統一性があったことを指摘できる。

(3) おわりに

以上、史料調査と建築調査を両輪とする、私の研究方法を紹介した。ここで取りあげた久保田正吉は、飯田下伊那における建築設計業の礎を築いた人物であり、地域史を語るうえで欠かせない人物である。今後さらに研究を進めていきたい。



図3 旧松尾村講堂

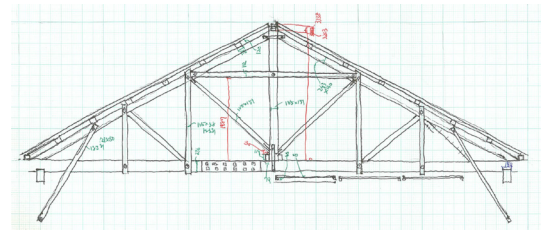


図4 架構のスケッチ

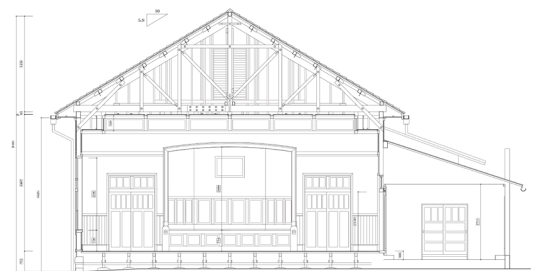


図5 清書図面



図6 小屋裏の架構



図7 棟札

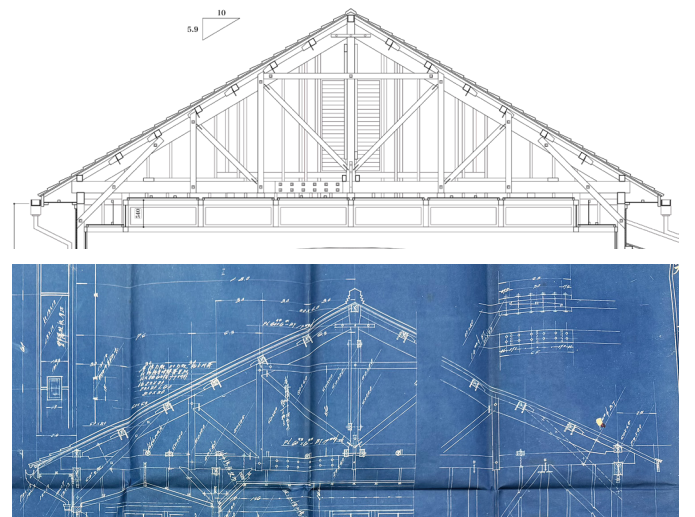


図8 旧松尾村講堂（図5）、松尾小学校（図2）比較



『飯田市歴史研究所年報』 23

2025年12月刊行
飯田市歴史研究所編

B5判 191頁
定価2,200円（税別）

・平安堂 飯田店
・飯田市考古博物館

・飯田市美術博物館
・飯田市歴史研究所にて購入できます

特集「恒川官衙遺跡研究の最前線 —浮かびあがる古代伊那郡の役所〈伊那郡衙〉—」は、文献史学・考古学・建築史学からの検討を交差させて古代の伊那郡衙や下伊那について考えた第21回飯田市地域史研究集会（2024年9月開催）の成果をまとめたものです。

そのほか、上久堅村の分村移民に結びつく村政の混乱を描いた研究ノート、小中学校史料調査や建築調査の報告、王子製紙の遠山進出や丸山教の伝播に関する史料の分析、新しく発見された中馬関係史料の紹介など、最新の研究成果を掲載しています。

【特集】恒川官衙遺跡研究の最前線

—浮かびあがる古代伊那郡の役所〈伊那郡衙〉—

- ・文献史料から見た史跡恒川官衙遺跡 田島 公
- ・史跡恒川官衙遺跡 正倉院発掘調査の成果 羽生 俊郎
- ・郡衙正倉にみる在地の建築技術 海野 聡
- ・恒川官衙遺跡と座光寺の歴史文化 田口 博人

【研究ノート】

- ・産業組合破綻・村政混乱から上久堅開拓団を再考する 本島 和人

【調査報告】

- ・飯田市内小・中学校所蔵史料の所在確認調査について 多和田 真理子
- ・2024年度歴史的建造物調査 岩田 会津

【史料で読む飯田・下伊那の歴史】

- ・王子製紙による山林労働者の米確保と飯田八幡町の米穀商 太田 仙一
- ・丸山教の下伊那伝播とその対応 竹村 雄次

【史料紹介】

- ・イェール大学所蔵奈良屋文書からみる伊那往還の中馬 竹ノ内 雅人



定例研究会 「書状からみる近世社会のネットワーク—清内路の事例から—」

開催日 2月28日 ⊕ 報告者 羽田 真也（歴史研究所研究員）
時間 14:00～16:00 会場 歴史研究所 研修室

受講生募集中!!

歴研ゼミ&ワークショップ 2月・3月の予定

会場：歴史研究所 研修室

近世史ゼミ

「飯田御用覚書」を読む

2月25日 / 3月11日・25日
第2・4水曜日 18:30～20:30
担当:羽田 真也(研究員)

建築史ゼミ

身近な空間の歴史を調べてみる

2月20日 / 3月27日
第3金曜日 18:30～20:30
担当:岩田 会津(研究員) 2-3面で研究紹介

地域史ゼミ

大正期 LYL 事件の刑事記を読む

2月12日 / 3月12日
第2木曜日 13:30～15:30
担当:伊藤 悠(研究員)

思想史ワークショップ

清水幾太郎『天皇論』他の輪読と論議

2月4日・18日 / 3月4日・18日
第1・第3水曜日 16:00～18:00
市民の皆さんが自主的に学び合う場

満洲移民研究ゼミ

文書・記憶・個人の記録から考える

第169回2月7日 / 第170回3月7日
第1土曜日 10:00～11:40
担当:本島 和人(調査研究員)

近現代史ゼミ

昭和11年胡桃澤盛日記を読む

2月28日 / 3月28日
第4土曜日 10:00～11:40
担当:田中 雅孝(調査研究員)

ゼミ・ワークショップの詳細・お申込みについては、歴史研究所までお問い合わせください。TEL：0265-53-4670
開所時間：午前9時～午後5時 休所日：日曜日・月曜日・祝日・12月29日～1月3日
メール配信をご希望の方は、E-mail：iihr@city.iida.nagano.jp まで